

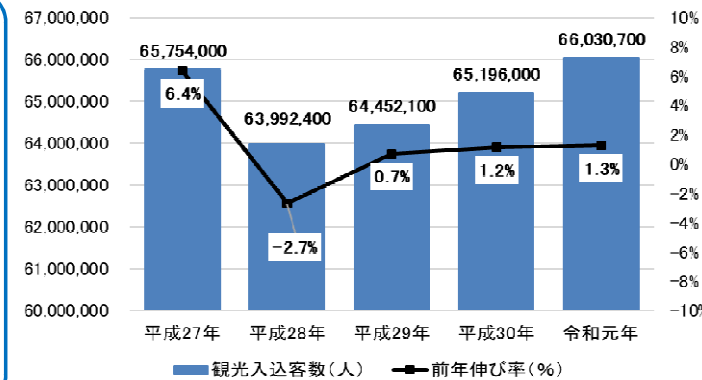
令和元年(2019年) 観光入込客統計調査報告書 概要

結果概要

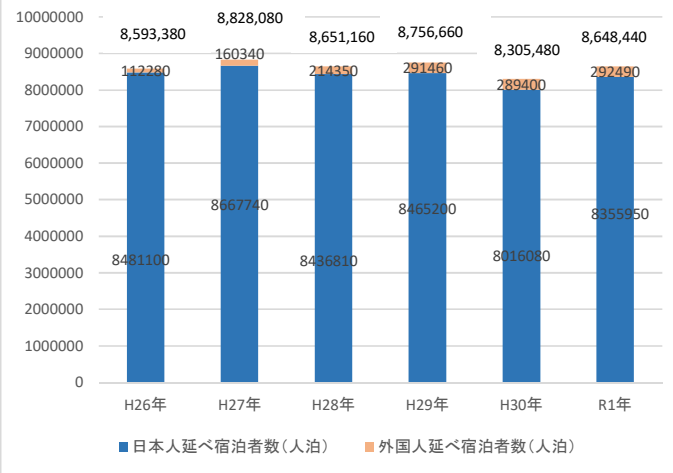
■まとめ

- **観光入込客数**
66,030千人であり、前年比+1.3%
- **宿泊客数**
延べ宿泊者数は、8,648千人泊であり、前年比+4.1%、外国人延べ宿泊者数は、292千人泊であり、前年比+1.1%
- **観光消費額**
291,252百万円であり、前年比▲1.6%
- **観光消費額単価**
宿泊23,202円であり、前年比+3.9%、日帰りは4,109円であり、前年比▲9.1%

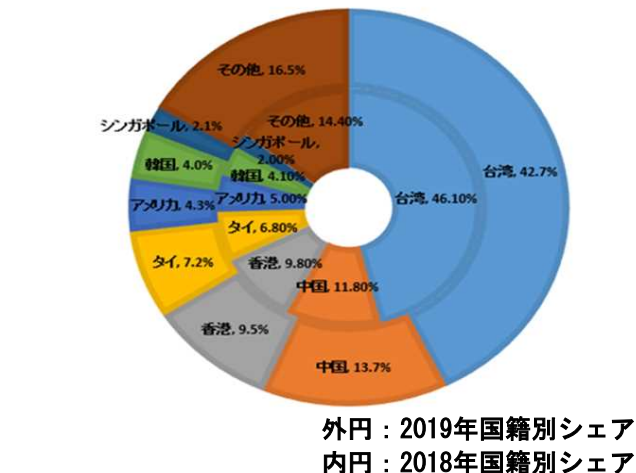
■観光入込客数



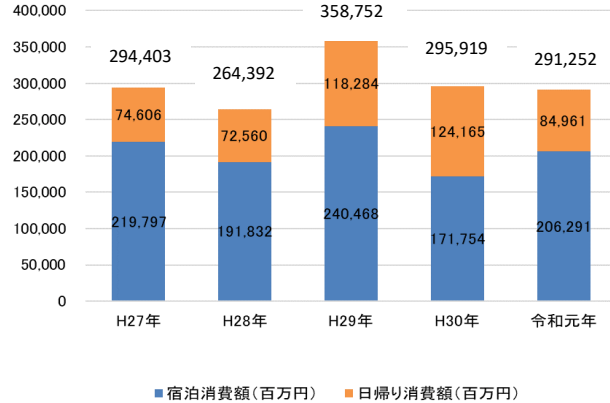
■宿泊者数



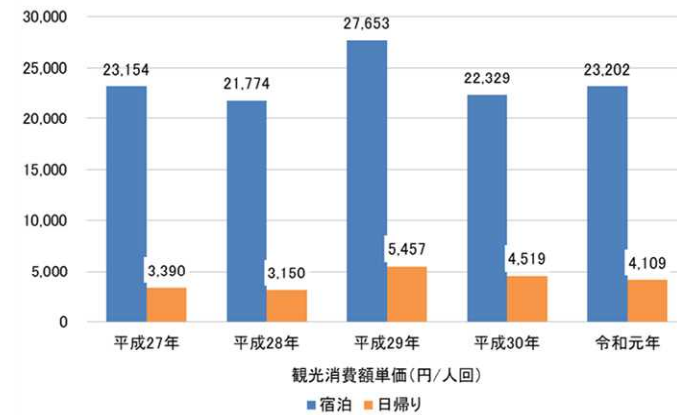
■外国人延べ宿泊者数国籍別シェア(従業員数10名以上の施設)



■観光消費額



■観光消費額単価

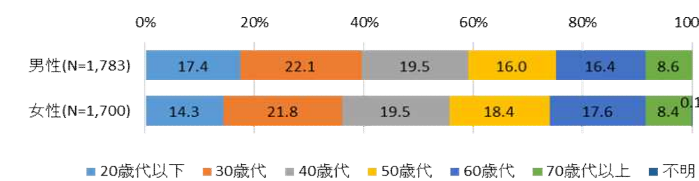


調査方法

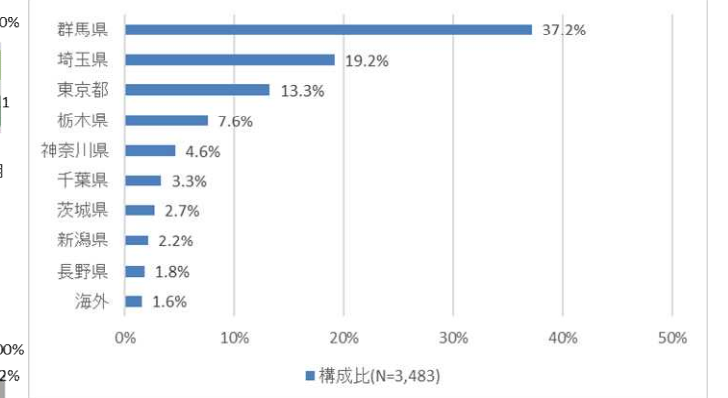
- **観光入込客数** 群馬県「観光客数・消費額調査」
・年間1万人以上、もしくは特定月が1,500人以上の全観光地点(観光行事)について、県内35市町村へ照会を行い集計
 - **宿泊者数** 観光庁「宿泊旅行統計調査」
・観光に限らず、宿泊施設すべて観光庁⇄民間等請負業者⇄郵送(又はオンライン)⇄各報告者のとおり調査を行い推計
 - **観光消費額** 観光庁「共通基準による観光入込客統計」
・年間1万人以上、もしくは特定月が5,000人以上の観光地点について、「観光地点パラメータ調査(アンケート調査)」※及び宿泊旅行統計調査等の結果から推計
- (参考)※群馬県「観光地点パラメータ調査」
・調査員による聞き取り調査を、四半期ごとに県内10カ所で行う
・調査項目：性別、年齢、居住地、来訪目的、利用交通手段、旅行消費額、来訪満足度、再来訪意向等

(参考)群馬県「観光地点パラメータ調査」結果

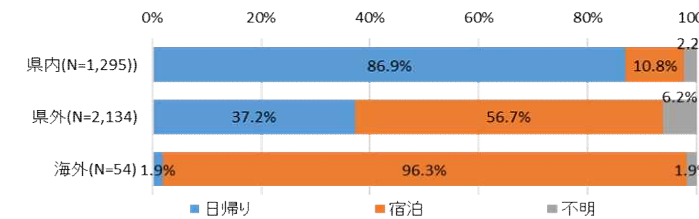
■観光客の属性-性年代-



■観光客の属性-居住地(上位10位)-

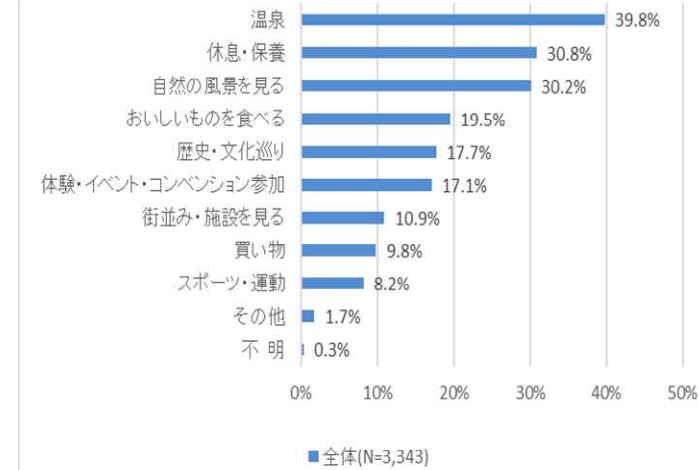


■観光客の属性-宿泊の有無-



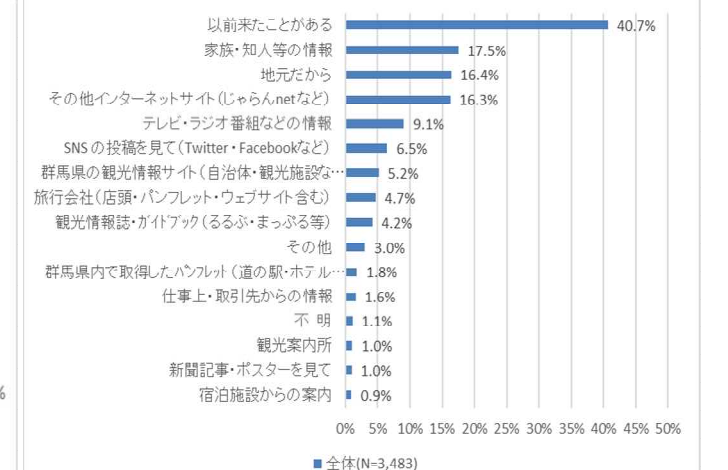
- 性年代は、男女とも30歳代が最も多い。
- 居住地は、群馬県が最も多く、隣接する都県からの来訪者が多い。海外からは、10位で1.6%である。
- 宿泊は、県内が10.8%、県外が56.7%である。

■観光の主な目的(複数回答)



○ 「温泉」が39.8%で最も多い

■観光地選択の際の情報源(複数回答)



○ 「以前来たことがある」が40.7%で最も多い